

ザンギを地域の食文化に

釧路あすなるク



「ザンギという食の歴史に誇りを持って」と語る白幡氏

盛り上げ隊 結成を

白幡氏が例会で呼び掛け

中小企業経営者らの異業種交流を目的とした経済研修団体「あすなるク」(齊藤政行会長)は17日、釧路キャ

ッスルホテルで11月例会を開き、釧路が発祥の地とされる「ザンギ」に着目し、地域の食文化を考えた。

同クラブは毎年、年間テーマを定め、それに沿った例会活動を展開。今年「創る・つなぐ・釧路の未来」として、地域や産業、文化、人づくりなどを研修している。11月例会では駒形家社長で釧路ザンギ推進協議会会長も務める白幡博氏を講師に招き、地域の文化となりうる「食づくり」について理解を深めた。

釧路地域には緑色のそばやスパカツ、勝手丼など独特な食文化があるが、中でも「ザンギ」は今年2月に協議会が発足し、8月に大々的なイベントが開催されるなど、今最も注目を集める「食」となっている。白幡氏は例会で「今後は盛り上げ隊のような組織を結成したい」と述べた上で、「ザンギという食文化を通じて『食』を活性化するのではなく、ザンギという『食』に自信と誇りを持つことが大事。一緒に行動してほしい」と求めている。(道永竜命)